

* 昔の暦計算室の数々のお宝 多数収蔵

アーカイブ室新聞 429号に「六分儀」を収蔵したことを書いた。その際、歴史的に貴重なお宝が出てくるのは、古い建物を壊す時、あるいは耐震化工事を行うため、建物の収容物を整理する時、また引っ越し作業で周辺を整理する時がチャンスだと書いた。今、天文情報センターの一部に部屋替えがあり引っ越しが行われている。そのお一人の暦計算室の松田君が引っ越しの整理していろいろな古いものがあるとアーカイブ室に持ちこまれた。その譲渡を受けたものが次のリストである。松田君は以前、天文時部に所属していたので、その関係のものもあるようだ。

2011年3月18日 松田君から引き受けたもののリスト

- 1) 高度計
- 2) 木製直定規
- 3) 木製3角定規2個1組
- 4) 竹製30cmスケール(日本製)
- 5) 竹製30cm(12吋)定規(フィリピン製) T. Takamuraの名前入り
- 6) インク吸取り紙パッド 2個
- 7) ナンバリング(LION AUTO NUMBERING MACHINE)
- 8) キャビネ版写真乾板(裸で光を被ったもの)8枚
- 9) 手札版乾板ホルダー(乾板が1枚入っている)
- 10) 暦計算部の使ったゴム印箱および暦関係ゴム印(31+30+33+35=129個)
- 11) ゴム印箱(種々入っている、この時代の研究室の事務用ゴム印が多数、印鑑など)
- 12) ACE VIEWER(スライドビューアー)
- 13) 電卓(CASIO ROOT 8S)
- 14) 電卓(CASIO-MINI)1972年のもの
- 15) 電卓(HP-41CX)箱、取扱説明書、電源パックあり
- 16) 電卓(HPモデル35)電源パックあり
- 17) ポケットベル
- 18) ベンチマーク(TAO TIME DIVISION BENCH MARK)
- 19) 謄写版用鉄筆セット
- 20) 10Xルーペ
- 21) 算盤ブラシ
- 22) タイガー計算機使用法解説書
- 23) 円形定規

- 24) 計算尺
- 25) 4つ玉そろばん 2個
- 26) 分度器 ¥60 と書かれている
- 27) ガラス切り
- 28) ペン軸 4本
- 29) ペン先 1箱
- 30) ガラスペン先 1箱
- 31) ガラス製ペン皿
- 32) 千枚通し
- 33) コンパス 1個
- 34) カメラ (ASAHI PENTAX 1:1.5 f=55mm)
- 35) カメラ (Hua Ying F2.8 40mm)
- 36) カメラ (OLYMPUS 35RC 1:2.8 f=42mm)
- 37) 露出計 (SEKONIC MICROLITE METER) 説明書あり
- 38) 露出計 (SEKONIC L-III) 使用説明書あり
- 39) 接眼レンズ (NIKON HK5X)
- 40) EMLARGING METER (引伸用 露光計)
- 41) ASAHI EXRENSION TUBE (3個入っている)
- 42) ゴムベルト1本、ゴムローラー3個の入った封筒
- 43) 缶入り ASAHI PENTAX のフィルムマガジン 2個 1個にはフィルムが入っている
- 44) フィルムマガジン 1個 名無し簡単なもの
- 45) ASAHI PENTAX のレンズフード (皮ケース入り)
- 46) ディロールII型 35mm フィルム日中総天気説明書 (本体がない)
- 47) アサヒペンタックス専用接写リングの使い方 (リングがない)
- 48) 旭光学工業株式会社からの封筒 (挨拶状、保証書、ASAHI PENTAX K 使用説明書、キャノンフィルターの説明書、ロンド精密焦点鏡説明書、アサヒフレックス専用ベロスコープの使い方)
- 49) 素性のわからない鋳物スタンド

これらのうち、とくに興味深いものについては稿を改めて紹介したい。

ここでは非常に珍しいもの2点の写真を紹介するにとどめる。写真1は、ベンチマーク (TAO TIME DIVISION BENCH MARK) である。TAO は Tokyo Astronomical Observatory である。天文時部の人たちは各地の運搬用子午儀、経緯儀を持って経緯度を測定していた。その時使われたマークの残りだと思われる。写真2は「高度計」である。これは気圧の変化を使って自分のいる場所の高度を知る計器である。海拔0mから4500mまでの目盛りが付いている。筆者はハワイのマウナケア山 (標高4205m) に登っていたこともあり、この種の光度計を自分でも持っていた。これで飛行機の中は標高2800mほどの気圧に加圧されているこ

とを知った。



写真1 ベンチマーク (TAO TIME DIVISION BENCH MARK)



写真2 高度計

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp